



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 株式会社 トランスジェニック

上場取引所 東

コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 船橋 泰

TEL 096-375-7660

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	561	143.2	△131	—	△168	—	△179	—
25年3月期第2四半期	230	△9.5	△125	—	△123	—	△151	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △180百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △152百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△13.35	—
25年3月期第2四半期	△11.68	—

(注) 当社は、平成25年4月1日付で1株につき100株の割合で株式分割しております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	3,570	—	2,690	—	73.8	193.35	—	
25年3月期	2,946	—	2,323	—	78.4	178.21	—	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,633百万円 25年3月期 2,310百万円

(注) 当社は、平成25年4月1日付で1株につき100株の割合で株式分割しております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	169.9	70	—	30	—	10	△63.0	0.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	13,624,100 株	25年3月期	12,964,100 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,400 株	25年3月期	1,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,472,372 株	25年3月期2Q	12,956,400 株

(注)当社は、平成25年4月1日付で1株につき100株の割合で株式分割しております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高561,499千円（前年同期230,876千円）、営業損失131,870千円（前年同期125,738千円）、経常損失168,287千円（前年同期123,586千円）、四半期純損失179,798千円（前年同期151,371千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、株式会社ジェネティックラボを子会社化したため、当第2四半期連結会計期間より「病理診断事業」を追加しております。

#### ① ジェノミクス事業

遺伝子改変マウス作製受託が順調に推移し、また、株式会社ジェネティックラボを子会社化したことにより同社の遺伝子解析事業が加わったこともあり、売上高は145,770千円（前年同期98,595千円）、営業利益は16,807千円（前年同期は営業損失15,687千円）と増収増益となりました。

#### ② CRO事業

第1四半期連結会計期間より株式会社新薬リサーチセンターを新たに連結の範囲に含めたことから、売上高は241,265千円（前年同期42,220千円）と増加しましたが、固定費の回収には至らず、営業損失は59,874千円（前年同期29,181千円）と増収減益となりました。

#### ③ 抗体試薬事業

株式会社ジェネティックラボを子会社化したことにより同社の分子病理解析受託サービスやCTC（血中循環腫瘍細胞）測定サービスなどが加わったこともあり、売上高は113,205千円（前年同期90,060千円）、営業利益は16,523千円（前年同期13,053千円）と増収増益となりました。

#### ④ 病理診断事業

当第2四半期連結会計期間より新たに追加された当事業は、株式会社ジェネティックラボが北海道内の医療機関や検査センターと連携し病理診断サービスを提供するものであり、売上高は61,257千円、営業利益は1,114千円でありました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末は、流動資産が1,855,788千円（前連結会計年度末比241,938千円増加）となりました。また、のれんが249,100千円増加し、固定資産は1,714,745千円（同382,027千円増加）、流動負債347,703千円（同186,807千円増加）、固定負債532,029千円（同69,589千円増加）となりました。これは、株式会社新薬リサーチセンター及び株式会社ジェネティックラボを新たに連結の範囲に含めたことによるものであります。また、新株予約権の行使により資本金が251,803千円、資本剰余金が251,803千円増加し、欠損填補のために資本金が3,106,555千円、資本剰余金が547,836千円減少し、純資産合計2,690,801千円（同367,569千円増加）となり、総資産は3,570,534千円（同623,965千円増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは△63,981千円（前年同期△62,003千円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純損失176,194千円（前年同期143,221千円）、売上債権の減少額105,517千円（前年同期61,956千円）等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出77,227千円（前年同期87,557千円）、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入66,514千円、事業譲受による支出190,000千円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは△215,092千円（前年同期△94,373千円）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

新株予約権の行使による株式の発行による収入477,697千円、短期借入金の返済による支出25,000千円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは448,156千円となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ169,083千円増加し、1,498,345千円（前年同期1,242,160千円）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高、損益ともに、概ね予想通りに推移いたしました。今後も計画を達成すべく収益獲得に取り組んでまいります。

以上により、現時点におきましては、平成25年8月8日に公表いたしました平成26年3月期通期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社新薬リサーチセンターを設立し、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社メディフォーム及び株式会社ジェネティックラボの株式を取得し、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第2四半期連結累計期間におきましても、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該重要事象等を解消するため、既存事業の営業強化及び納期短縮、M&Aによる事業規模拡大により収益増加を目指します。資金につきましても、当第2四半期末時点での「現金及び預金」と「有価証券」の合計額は1,498,345千円であり、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	429,262	698,345
受取手形及び売掛金	237,152	224,019
有価証券	900,000	800,000
商品及び製品	12,513	10,719
仕掛品	5,876	77,380
原材料及び貯蔵品	7,128	10,815
その他	22,402	35,305
貸倒引当金	△485	△796
流動資産合計	1,613,850	1,855,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	807,094	938,611
減価償却累計額	△179,109	△221,838
建物及び構築物（純額）	627,985	716,773
土地	581,747	621,290
その他	331,768	536,887
減価償却累計額	△245,566	△442,598
その他（純額）	86,201	94,289
有形固定資産合計	1,295,935	1,432,352
無形固定資産		
のれん	—	249,100
その他	483	383
無形固定資産合計	483	249,483
投資その他の資産		
その他	36,299	35,259
貸倒引当金	—	△2,350
投資その他の資産合計	36,299	32,909
固定資産合計	1,332,718	1,714,745
資産合計	2,946,568	3,570,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,030	5,846
短期借入金	—	25,000
1年内返済予定の長期借入金	—	10,296
未払金	106,289	122,641
未払法人税等	13,653	7,302
賞与引当金	6,341	7,734
受注損失引当金	980	2,487
その他	31,600	166,395
流動負債合計	160,895	347,703
固定負債		
社債	—	50,000
長期借入金	—	22,236
長期未払金	462,440	404,635
その他	—	55,158
固定負債合計	462,440	532,029
負債合計	623,335	879,732
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,405,356	2,550,604
資本剰余金	547,836	251,803
利益剰余金	△3,641,302	△166,708
自己株式	△1,782	△1,782
株主資本合計	2,310,108	2,633,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40	—
その他の包括利益累計額合計	△40	—
新株予約権	7,562	12,443
少数株主持分	5,602	44,441
純資産合計	2,323,232	2,690,801
負債純資産合計	2,946,568	3,570,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	230,876	561,499
売上原価	183,803	421,990
売上総利益	47,072	139,508
販売費及び一般管理費	172,811	271,379
営業損失(△)	△125,738	△131,870
営業外収益		
受取利息	1,422	936
貸倒引当金戻入額	106	1,762
その他	1,189	760
営業外収益合計	2,718	3,459
営業外費用		
支払利息	—	1,228
持分法による投資損失	193	373
株式交付費	—	19,942
買収関連費用	—	12,245
投資事業組合運用損	372	—
その他	—	6,086
営業外費用合計	566	39,876
経常損失(△)	△123,586	△168,287
特別損失		
投資有価証券評価損	—	7,906
減損損失	19,634	—
特別損失合計	19,634	7,906
税金等調整前四半期純損失(△)	△143,221	△176,194
法人税、住民税及び事業税	2,857	4,378
法人税等調整額	4,787	—
法人税等合計	7,644	4,378
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△150,866	△180,572
少数株主利益又は少数株主損失(△)	504	△773
四半期純損失(△)	△151,371	△179,798



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△150,866	△180,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,520	40
その他の包括利益合計	△1,520	40
四半期包括利益	△152,387	△180,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△152,892	△179,758
少数株主に係る四半期包括利益	504	△773

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△143,221	△176,194
減価償却費	19,838	25,482
減損損失	19,634	—
のれん償却額	615	13,183
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△106	△1,762
受取利息及び受取配当金	△1,472	△941
支払利息	—	1,228
持分法による投資損益(△は益)	193	373
株式交付費	—	19,942
買収関連費用	—	12,245
新株予約権発行費	—	5,312
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,906
売上債権の増減額(△は増加)	61,956	105,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,497	4,154
仕入債務の増減額(△は減少)	8,218	△16,389
未払金の増減額(△は減少)	△34,979	1,801
前払費用の増減額(△は増加)	4,787	6,643
その他の資産の増減額(△は増加)	15,126	△4,143
その他の負債の増減額(△は減少)	3,070	△59,707
小計	△57,835	△55,346
利息及び配当金の受取額	1,476	1,048
利息の支払額	—	△293
法人税等の支払額	△5,644	△9,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,003	△63,981
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△400,000	—
有価証券の償還による収入	400,000	—
有形固定資産の取得による支出	△87,557	△77,227
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	66,514
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,322
事業譲受による支出	△7,500	△190,000
貸付金の回収による収入	569	581
敷金の差入による支出	—	△2,024
その他	114	△11,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,373	△215,092
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△25,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,716
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	477,697
新株予約権の発行による収入	—	5,535
その他	—	△8,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	448,156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△156,376	169,083
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,536	1,329,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,242,160	1,498,345

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間において、新株予約権の行使により資本金が251,803千円、資本準備金が251,803千円増加しました。また、平成25年6月25日開催の定時株主総会決議に基づき、平成25年7月29日付で、資本金3,106,555千円及び資本準備金547,836千円をその他資本剰余金に振替え、振替え後のその他資本剰余金3,654,392千円を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,550,604千円、資本剰余金が251,803千円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス事業	CRO事業	抗体試薬事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	98,595	42,220	90,060	—	230,876	—	230,876
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	98,595	42,220	90,060	—	230,876	—	230,876
セグメント利益又は損失(△)	△15,687	△29,181	13,053	—	△31,815	△93,922	△125,738

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジェノミクス事業」セグメントの一部である遺伝子解析事業について、当初想定していた収益が見込めなくなったことから、設備及びのれんの減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は19,634千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス事業	CRO事業	抗体試薬事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	145,770	241,265	113,205	61,257	561,499	—	561,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	145,770	241,265	113,205	61,257	561,499	—	561,499
セグメント利益又は損失(△)	16,807	△59,874	16,523	1,114	△25,429	△106,441	△131,870

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

株式会社ジェネティックラボの株式を取得し子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より、「病理診断事業」を報告セグメントに追加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の区分方法により作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社ジェネティックラボの株式を取得し子会社化したことに伴い、「ジェノミクス事業」において15,301千円、「抗体試薬事業」において45,903千円、「病理診断事業」において91,807千円、のれんが増加しております。